

第2期 男鹿市総合戦略(素案)の概要

【資料1】

基本目標 ① 産業振興による雇用創出

数値目標 第一次産業の新規就業者数 5年間で25人
交流人口285万人以上

(1) 観光産業の振興

観光情報発信の強化と積極的な誘客プロモーション、クルーズ船の船川港寄港誘致の推進、受入態勢の整備、インバウンド誘客の促進、男鹿版DMOによる「稼ぐ」観光の推進、スポーツツーリズムの推進などに取り組みます。

(2) 農林水産業の振興

第1次産業担い手確保・育成、経営能力に優れた経営体の育成、園芸品目の生産拡大、6次産業化、生産基盤施設整備、つくり育てる漁業の推進などに取り組みます。

(3) 商工業の振興

重要港湾船川港の利活用の促進、商店街活性化の推進、オガーレを軸とした産業振興の推進、販路拡大の推進に取り組みます。

(4) 人材の育成と起業の促進

起業・創業の支援、産業人材（医療、介護、福祉）の確保に取り組みます。

基本目標 ② 移住・定住対策

数値目標 移住定住施策等を通じた移住世帯数
5年間で60世帯

(1) 移住の促進

取組体制強化と総合的な移住情報の発信、受入体制の整備、移住者への生活基盤整備の支援に取り組みます。

(2) 転出の抑制

住環境の整備、都市インフラの整備に取り組みます。

(3) 関係人口の拡大

ふるさと納税の推進、スポーツ大会等による関係人口拡大に取り組みます。

基本目標 ③ 少子化対策

数値目標 20～30代の未婚率（県平均以下）

(1) 結婚・出産支援

若者の結婚への支援、不妊・不育症治療費への支援、妊娠・出産に対する支援に取り組みます。

(2) 子育て支援

子育て家庭の経済的負担の軽減、「おがっこネウボラ」の充実、地域子ども・子育て支援事業の充実、新・放課後子ども総合プランの実施などに取り組みます。

(3) 学校教育の充実

ICTを活用した教育環境の充実、特色ある教育活動の推進、コミュニティ・スクールの推進に取り組みます。

基本目標 ④ 地域社会の維持・活性化

数値目標 男鹿市に住みたいと思う市民の割合
R1調査実施 → プラス5ポイント
男鹿市での暮らしやすさに不満を感じている市民の割合
R1調査実施 → マイナス10ポイント

(1) 歩いて暮らせるまちづくりと地域コミュニティの強化

男鹿版コンパクトシティの推進、地域公共交通の維持、確保及び利用促進、住民主体のコミュニティ活動の推進に取り組みます。

(2) 健康長寿社会の形成

生活習慣病予防事業の充実、介護予防の充実、地域共生社会の実現に向けた地域包括支援体制の構築などに取り組みます。

(3) 安全なまちづくり

防災・減災の推進、総合的な空き家対策の推進に取り組みます。